

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 地域代表  
自治会長（2名）  
コミュニティーセンター長（2名）  
校区の保育所長（1名）
- 保護者代表  
PTA 役員（父）1名  
PTA 役員（母）1名
- 学校代表  
校長・教頭・教務主任  
合計 10名



### (2) 協議会の内容

- 開催回数 2回  
開催日程 令和元年7月5日（金）  
令和2年2月28日（金）
- 協議内容
- ・子どもたちの地域での様子や問題点
  - ・教育活動全般について
  - ・学校評価を受けて、学校の今後の対応について など

### (3) 協議会における成果と課題

- ・地域における子どもたちの諸問題等について、意見を聞くことができた。
- ・ふるさと教育を行う上で、地域の要望を取り入れ、学校の教育方針との整合性を図りながら、いかに進めていくかが今後の課題である。



## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域の方々の協力のもと、地域産業であるらっきょうについての体験活動を行う。また、それらの体験活動を通して、地域について調べ、地域のすばらしさを発信する取り組みを考える。



### (2) 活動の実際

#### ①おいしいらっきょうをつくろう（3・4年生）

3年生は、地域にある特産農協の協力を得て、らっきょう洗い漬け、味付け活動を行った。また、バスを借り上げ、らっきょう工場の見学や、畑でのらっきょう栽培の様子を見学した。味付けしたらっきょうは、全校児童に分けて食べてもらった。また、学んだことをらっきょう新聞にまとめ、校内に掲示することによって、他学年の児童、保護者、来校者に紹介した。

4年生は、特産農協の方の指導でらっきょう切りに挑戦した。また、食生活改善推進員の方々の指導で、らっきょうを使ったおにぎりを作った。試食では、らっきょうが苦手な子もおいしいと言いながら完食することができた。

### (3) 地域コーディネーターの活動概要

地域コーディネーター（4名）

内訳：特産農協職員、コミュニティーセンター職員、学校ボランティア2名

コーディネーターには、らっきょう体験や料理教室の指導者人員確保・計画・運営や地域人材や体験場所の紹介をもらった。

### (4) 特に工夫した事項

コーディネーターに、らっきょうの生産から味付けまでの一連の作業工程についてサポートしていただくよう依頼した。

### (5) 成果と課題

3・4年生の子どもたちがらっきょうに親しむ活動を行った。この活動を通して、子どもたちは自分たちの住む地域に対して、理解を深めることができた。課題としては、せっかく学習した地域のよさを積極的に発信する機会があまりとれなかったことである。今後、調べてきたことを発信するための手立てを子どもたちとともに考え、発信できたらと考えている。